

お客様各位

2019年3月26日
株式会社 東芝ストレージ&デバイスソリューション社
東芝マイクロエレクトロニクス株式会社
システムソリューション技術部
〒212-8520 神奈川県川崎市幸区堀川町 580-1
Tel: 044-548-2673
Fax: 044-548-8321

TX03, TX04 シリーズ AD 変換開始トリガに関するデータシート修正のご連絡

平素より東芝マイクロコントローラをご使用頂き、誠にありがとうございます。
下記の通り、データシート修正につきましてご連絡申し上げます。
ご迷惑をおかけしますが、内容につきご査収くださいますようお願い申し上げます。
なお、本件につきましてご不明な点がございましたら、当社営業担当までお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

—記—

1. 対象製品

M370 グループ

TMPM370FY	TMPM372FW	TMPM373FW	TMPM374FW	TMPM375FS
TMPM376FD	TMPM37AFS			

M380 グループ

TMPM380FD	TMPM380FW	TMPM380FY	TMPM381FW	TMPM383FS
TMPM383FW	TMPM384FD			

M470 グループ

TMPM470FD	TMPM470FZ	TMPM470FY	TMPM475FD	TMPM475FZ
TMPM475FY				

2. データシートの修正

TMPM380 を例に説明します。

[誤 1]

15.5.2 AD 変換開始

なお、AD 変換のプログラム実行中に PMD トリガが発生すると実行中の AD 変換を中止して直ちに PMD トリガのプログラムを実行します。その他の上位要因が発生時は現在の AD 変換終了後に上位のプログラムに移行します。

[正 1]

15.5.2 AD 変換開始

上位の起動要因(トリガ)が発生した時は、実行中の AD 変換を中止して直ちに上位のプログラムを実行します。PMD トリガによる AD 変換実行中に上位要因が発生時は、実行中の AD 変換終了後に上位のプログラムに移行します。

[誤 2]

15.6.3 トリガによる AD 変換開始

ソフトウェア AD 変換実行中に PMD トリガが発生した場合、ソフトウェア AD 変換は直ちに中断します(図 15-7)。タイマトリガの場合は実行中の AD 変換が終了してから、タイマトリガによる AD 変換を開始します(図 15-8)。なお、トリガによる AD 変換が終了後、ソフトウェア AD 変換は設定されたプログラムの最初から AD 変換を開始します(図 15-9)。

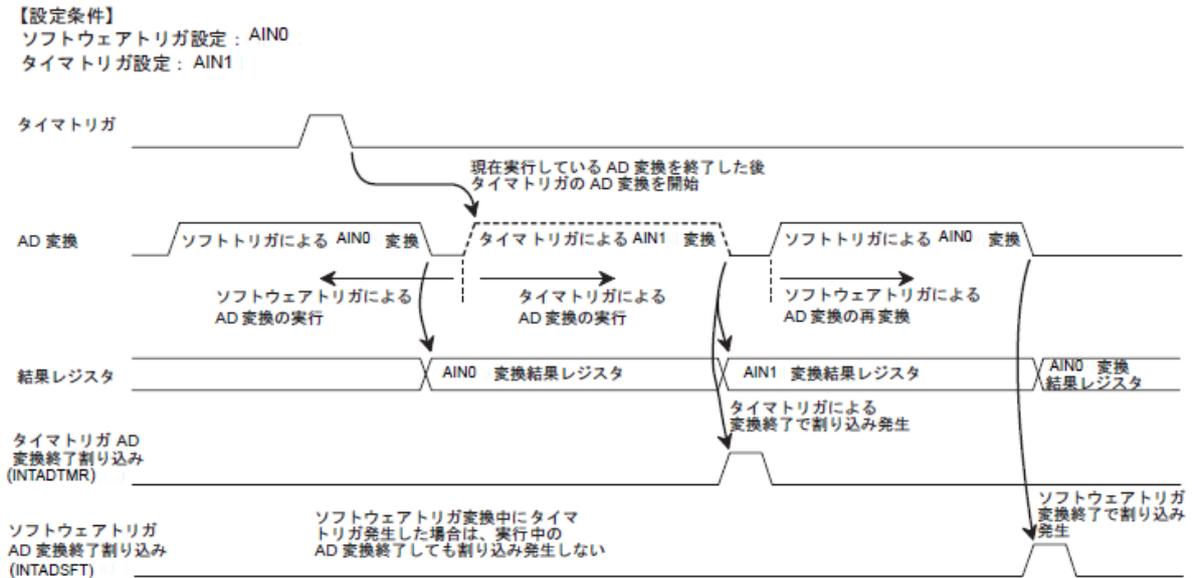


図 15-8 ソフトウェア AD 変換中のタイマ トリガ発生(1)

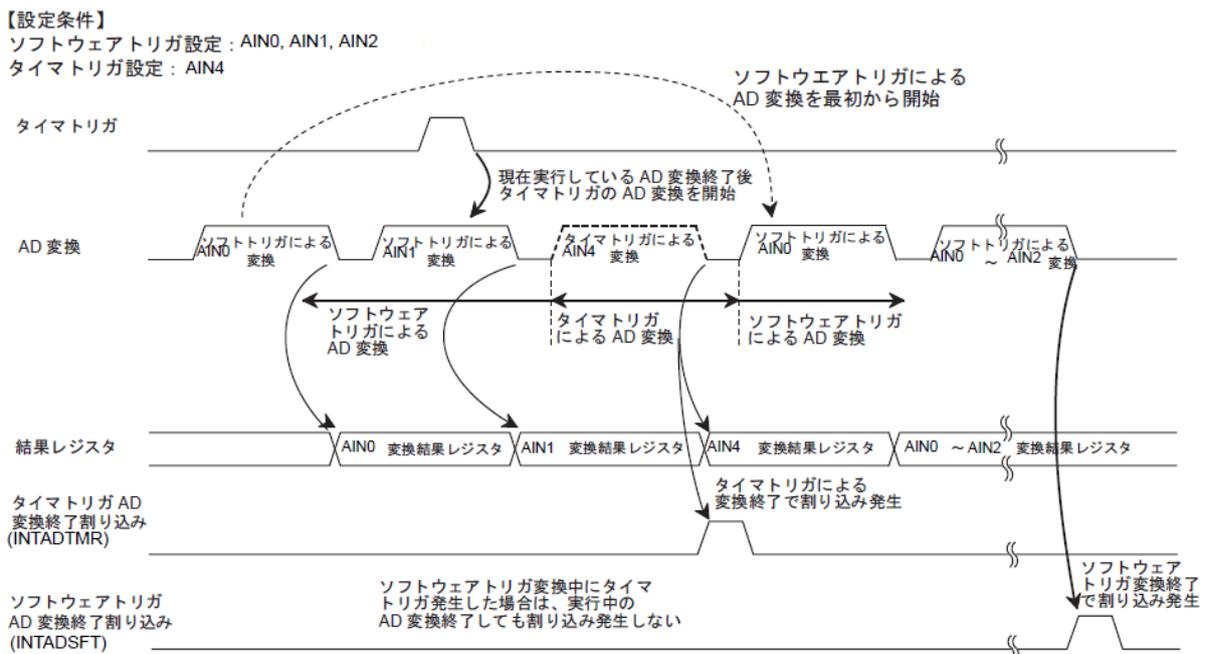


図 15-9 ソフトウェア AD 変換中のタイマ トリガ発生(2)

[正 2]

15.6.3 トリガによる AD 変換開始

ソフトウェア AD 変換実行中に PMD トリガが発生した場合、実行中のソフトウェア AD 変換は直ちに中断して PMD トリガによる AD 変換を開始します(図 15-7)。PMD トリガによる AD 変換が終了後、ソフトウェア AD 変換は設定されたプログラムの最初から AD 変換を開始します。タイマトリガが発生した場合も同様です(図 15-8)。

<中略>

【設定条件】

ソフトウェアトリガ設定：AINA0, AINA1, AINA2

タイマトリガ設定：AINA4

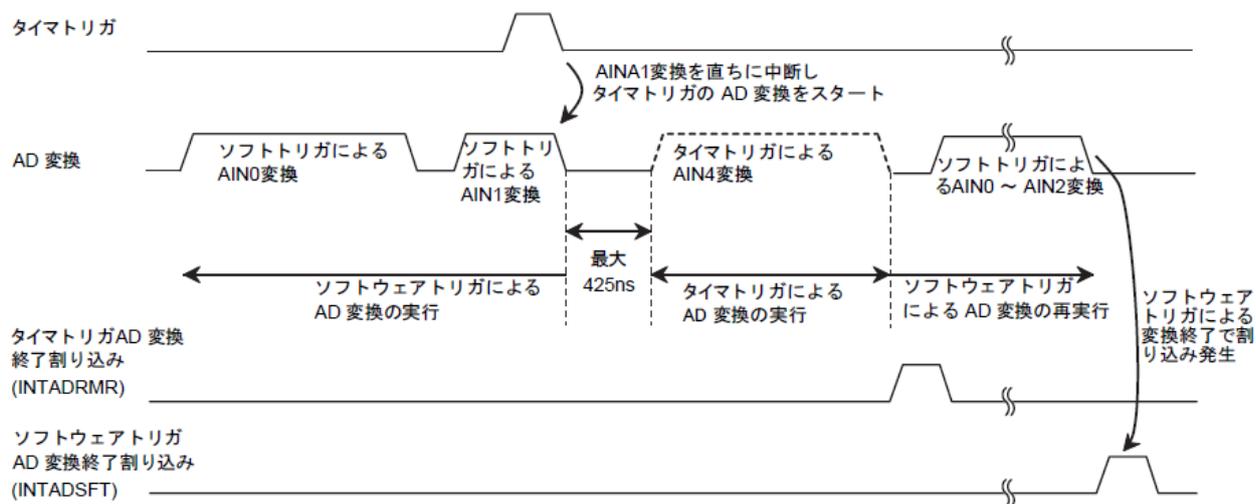


図 15-8 ソフトウェア AD 変換中の タイマトリガ発生

注) タイマトリガを使用しない場合は、INTTB51を使用しないでください。

<< 図 15-9 ソフトウェア AD 変換中のタイマトリガ発生(2) は削除します。 >>

以上